

第13回 建築設備シンポジウム

「環境建築で切り開く設計と研究のこれから PART II」

主催：日本建築学会 環境工学委員会 建築設備運営委員会

後援(予定)：空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、電気設備学会、日本設備設計事務所協会連合会、
建築設備総合協会、建築設備コミッションング協会、日本冷凍空調学会、照明学会、日本建設業連合会、
日本空調衛生工事業協会

日時：2017年10月31日(火) 10:00~17:15

会場：建築会館ホール (東京都港区芝5-26-20)

環境建築には、広義の環境への視点と持続可能な社会への対応が求められる。化石資源の枯渇や生態系受容の限界、都市環境の悪化といった、将来世代にまで影響が及ぶ様々な問題があるなか、エネルギー消費の低減や室内環境や健康面などの生活の質の向上だけでなく、レジリエントな社会の構築にも大きく関わる建築設備システムの役割と責務は非常に大きい。本シンポジウムでは、昨年の第12回に引き続き、多様な視点に基づいた環境建築のあり方やそれを支える技術について広く議論する。第1部では、最近の環境建築の事例を通して、環境建築の実現に向けた設計の目標、コンセプト、発想、実現する技術などについて設計者からご講演頂く。第2部では、環境建築に必要な考え方や最新の研究成果などについて研究者からご講演頂く。総合討論では、環境建築の発展に向けた設計・研究の両面からの幅広い議論を通じて、これからの環境建築のあり方について理解を深めることとしたい。

プログラム

趣旨説明 秋元孝之 (芝浦工業大学) 10:00~10:10

特別講演

(仮題) 建築設備の環境デザイン 木村建一 (早稲田大学名誉教授) 10:10~10:55

第1部「環境建築の実現に向けて」

司会：中野淳太 (東海大学)

1-1 YKK80 ビル	水出喜太郎 (日建設計)	11:05~11:25
1-2 雲南市役所新庁舎	竹部友久 (日本設計)	11:25~11:45
1-3 大手門タワー・J Xビル	羽鳥大輔 (三菱地所設計)	11:45~12:05
1-4 ROKI Global Innovation Center	小堀哲夫 (小堀哲夫建築設計事務所)	12:05~12:25
1-5 竹中工務店東関東支店	高井啓明 (竹中工務店)	12:25~12:45
質疑		12:45~13:00

第2部「環境建築に向けたこれからの研究」

司会：長谷川巖 (日建設計)

2-1 利用者の環境適応を考慮した温熱環境計画	中野淳太 (東海大学)	14:00~14:20
2-2 健康性と知的生産性に関わる空間・環境評価	伊香賀俊治 (慶應義塾大学)	14:20~14:40
2-3 環境建築に求められる建築気象条件	細淵勇人 (愛知工業大学)	14:40~15:00
2-4 ヒューマンファクター建築とその要素技術	横山計三 (工学院大学)	15:00~15:20
2-5 拡張排水システムの技術と展開	古賀誉章 (宇都宮大学)	15:20~15:40
質疑		15:40~15:55

総合討論「環境建築で切り開く設計と研究のこれから」

16:05~17:05

コーディネータ：石野久彌 (首都大学東京)

パネリスト：木村建一、中野淳太、伊香賀俊治、細淵勇人、横山計三、古賀誉章
水出喜太郎、竹部友久、羽鳥大輔、小堀哲夫、高井啓明

まとめ 秋元孝之 (前掲)

17:05~17:15

参加費 (資料代含む。当日会場でお支払い下さい)：会員 2,000 円 会員外/後援団体 3,000 円 学生 1,000 円

定員：300名 (申し込み先着順)

申込方法： 建築学会 Web サイトの「催し物・公募」よりお申し込み下さい。→申込ページ：<http://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=602143>

※シンポジウムの動画配信 (有料) も行っております。

→申込ページ (動画配信)：<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=602148>

(動画配信は、当日の開催時間にご覧いただくものです。後日の視聴はできませんので、ご承知おき下さい。)

問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 中村 mail: nakamura@aij.or.jp tel: 03-3456-2057